

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和八年四月度 入賞句一覧 投句数 三百八十五句

奥の細道
むすびの地



特選

高木 佐知子 選

かぜややなさくらのこころが止まつてる 大垣市 幸谷 義也(小四)

さくらと言えば、満開のピンクの花に人々が集い、春を存分に楽しんでる光景が目に見えます。そこに風が吹いてきて、やがて花びらが散っていくのです。が、それもまた美しいものです。しかし、作者はその花びらの気持ちになつて「かぜややな」と詠みました。少しでも長く美しいピンクを咲かせていたいというさくらの心が伝わってきました。着眼点が良いですね。作者ならではのさくら

ギア上げて春一番の坂上る 加茂郡川辺町 村山 晴琉(中二)

自転車通学なのでしようか。それとも休日どこかでかけるのでしようか。いずれにしても風が吹く中、力一杯ペダルを漕いでいる元気な姿が目に見えます。「坂上る」ですから、自転車を左右に揺らして立ち漕ぎをしているのかもありません。「春一番」という季語が、明るさと勢いを表すのにぴったりです。中学生の深淵としたエネルギーが感じられる、躍動感の溢れる一句です。

春風がやさしくあたままでてくる 大垣市 うすい ここな(小四)

どこからか吹いてくる暖かい春の風に髪が揺れている光景が想像されます。何かうれいことがあったのでしようか。頭をなでて褒めてもらったときのことを思い出したのかもしれないですね。暖かい風が大きな手になつて、作者の頭を優しくなでてくれたように感じましたのでしよう。穏やかに微笑んでいる作者の優しい表情までもが浮かびます。ゆつたりとした温かい一句です。

秀逸

さくらもち甘い思い出香りゆく 加茂郡川辺町 坪内 陸斗(中二)

春の風新しい席少し緊張 加茂郡川辺町 木下 仁瑚(中二)

しあわせだおなかいっぱいいちごがり 大垣市 かわさき のあ(小二)

夜桜にほんのり香るしようゆだれ 大垣市 清水 結衣(中一)

石ぼん玉けしきがうつるかがみだね 大垣市 まつがすみ なお(小四)

入選

小中学生の部

春の風新たな道へステップアップ

加茂郡川辺町

河合 芽依（中二）

春風やページめくればクラス替え

加茂郡川辺町

鈴木 沙彩（中二）

菜の花や遠くの電車の音ひびく

加茂郡川辺町

井戸 奏翔（中二）

恋心ゆれる気持ちや花吹雪

加茂郡川辺町

白村 優羽（中二）

ひなまつりおもちゃをたべてにつっここ

大垣市

むらせ りつ（小二）

はるのそらわたげフーフーたのしいな

大垣市

うえの かえで（小二）

たんけんだ大きなつくしみつけたよ

大垣市

あらし はるま（小二）

しろでみるそらとかさなるさくらのき

大垣市

原口 達己（小六）

クローバーみつめてみたいよつばをね

大垣市

関村 陽人（小四）

ひな人形またらい年といってるよ

大垣市

なかしま ももか（小四）

選者吟

制服のリボンを揺らす陽疾風

佐知子

